

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の概要を発表した内容等をファシリテーター及び事務局がまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

## 沼津高架 PI プロジェクト

### 沼津駅周辺地区第5回勉強会 開催概要

5月11日(土)、沼津駅周辺地区第5回勉強会が開催され、24名の方が参加し、「評価項目と戦略案(代替素案)」についての議論が行われました。

冒頭、事務局から以下のような説明がありました。前回の勉強会にて、ステップ3の検討内容である「評価項目」及び「戦略案(代替素案)」の案が提示されたことが拙速ではないかとの批判があったが、それぞれの案は、ステップ2「地域づくりの目標」やオープンハウス・車座談議等からの多様な意見を踏まえて、PIプロジェクト全体の時間管理を行う観点から「たたき台」として示したものであり、勉強会においては他の参加者の意見を聞きながら活発な議論を期待する、というものです。

この後、ファシリテーターに運営が一任され、まずは、評価項目(案)について、前回の議論を踏まえた修正案が事務局から提案されました。全体及びグループ討議では、重視したい評価の視点として、県東部地域の拠点となりうるか、事業費、事業期間、実現可能性などが挙げられ、これらの評価指標は目標値も含め専門家だけが設定するのではなくPIプロジェクトにおいて市民が議論することの必要性が確認されました。また、評価項目は「地域づくりの目標」を踏まえて幅広い視点から設定するが、あくまでもPIプロジェクトでは高架事業について予断ない検討を行うことが中心的な議題であることが確認されました。

次に、戦略案(代替素案)については、前回の議論を踏まえて追加した2案を含む計4案(A-1総合整備型第1案、A-2総合整備型第2案、B-1個別対応型第1案、B-2個別対応型第2案)が議論のたたき台として示されました。参加者から、前回自らが提案した内容とは異なる案が提示されたとの意見がありましたが、これについて事務局から、戦略案(代替素案)は必ずしも多数ある全ての個々の提案を踏まえたものではなく、議論しやすいよう総合してたたき台として提示しているので、さらに提案があればぜひ積極的に議論をしてほしい旨の回答があり、これを受けてグループごとに議論が行われました。

まず、事業期間について、今回示された戦略案(代替素案)ごとではなく個々の事業ごとに示されることで4つ以外の戦略案(代替素案)も検討したいとの要望がありました。

A-2総合整備型第2案(前回提示されたA-1総合整備型第1案に対する提案・意見を追加したもの)については、土地区画整理事業に加え共同化の手法を用いてまとまった土地を生み出し、体育館や高度医療施設など広域からの集客が期待できる施設を整備する可能性があることがメリットであるとの認識が示されました。この案については、理想的な整備案を積み上げたもので実現性が低いのではという疑問がある一方で、ステップ3では理想的な将来像を描くことが予断のない検討の一環であるとの意見がありました。

B-2個別対応型第2案(前回提示されたB-1個別対応型第1案に対する提案・意見を追加したもの)については、鉄道ではなく南北幹線道路をオーバーパスにすると威圧的であり景観が悪化する、街の新たな分断につながるなどの理由から、それぞれの幹線道路について、現状のままとする、オーバーパスとほしくないが何らかの改修を行う、交通容量をとるためにオーバーパスとするなどの方法が議論され様々な提案が出されました。また、歩行者・自転車の回遊性を確保し、駅前及び駅周辺に市民や観光客が集まる施設とそのための土地を確保する観点からは、駅の自由通路をより幅の広いペDESTリアンデッキとして整備する案や駅前広場の拡充整備などがあらためて提案されました。

次回(5月25日(土))は、原地区勉強会との合同開催となり、戦略案(代替素案)及び評価項目について、両地区及び広域的な視点から検討を行う予定です。